

歯学部附属歯科衛生専門学校
令和6年度自己点検・評価及び学校関係者評価報告書

1 目的

実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえ、その達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについて評価し、その結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者（以下「学外評価者」という）による学校関係者評価を受け、学校として組織的・継続的な改善を図ることにより、教育水準の向上を図ることを目的とする。

2 実施概要

① 自己点検・評価の実施

歯学部附属歯科衛生専門学校（以下「本校という」）において、点検・評価項目を4項目設定した。

本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階により評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を作成した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

<点検・評価項目>

① 【重点目標】学生募集活動は適正に行われているか。
② カリキュラム・ポリシーに基づき、専門課程にふさわしい授業科目を開設し教育課程を体系的に編成しているか。
③ 学生への支援は適切に行われているか。
④ 災害に備えた環境が整備されているか。

② 学校関係者評価の実施

(1) 学外評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。

(2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を学外評価者に説明した。

(3) 各学外評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」に取りまとめるとともに、以下の4段階により評価した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

(4) 学外評価者の互選による代表者は、各学外評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」にて評価結果（総評）を作成した。

3 学外評価者

① 卒業生

成田 アヤ子（平成9年歯学部附属歯科衛生専門学校卒業生）

② 学校の専門分野における関係団体・関係業界

井上 球代（歯学部附属歯科衛生専門学校同窓会会長）

③ 地域住民

今村 昭二郎（神田学校歯科医会会長）

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第1回 令和6年10月10日（金） 午前10時～午前10時40分

② 第2回 令和6年11月21日（木） 午後1時～午後2時45分

③ 第3回 令和6年12月19日（木） 午前10時～午前10時30分

5 評価結果（総評）

本校に優れた学生の確実な進学を促すため、指定校推薦枠を次年度より設けている。推薦制度設置を進めるに当たり、各高等学校へ専任教員が赴いて綿密な打合せも行ってきており、これらの成果が次年度の選抜試験で結果として表れることを期待したい。また、今後SNSなどを活用し、多職種連携や先端医療を学んでいる様子などを積極的にアピールしていきたい。

令和5年度、社会情勢に即し改正した新カリキュラムが始まったが、その学習成果は全学年が修了する3年後に本格的に見直しをする。1年次が修了した現時点での検証では、非常に良好な成果を得ている。このまま緊張感を持って次年度以降につなげていけるようまい進したい。令和7年度選抜試験が現在順調に進んでいる。令和8年度以降も、指定校推薦枠増設などによる定員数充足の継続につなげて、最終的には教員数の増員にもつなげていきたい。

令和6年度は様々な悩みを抱える学生が増えた。担任だけでなく校長、教務主任との定期的な面談や大学附属ならではの学生支援センターのカウンセラーとの連携を常にとり、手厚くサポートを行っている。

災害に対する安全対策では、歯学部で作成されている避難経路を教員全員で把握し、歯科衛生専門学校独自の誘導経路や手順を現在作成中である。教員間での情報共有、学生への伝達方法及び学生の誘導方法など、あらゆる場面を想定してシミュレーションし、大規模災害が起こる前に確実なものにしたい。

以 上